

介護職員初任者研修施設に関する情報公開

学校法人 丸の内学園

A. 研修機関情報

1. 法人情報	
名 称	学校法人 丸の内学園
住 所	〒460-0002 名古屋市中区丸の内1丁目3番25号
役 員 等	理 事 長 谷川 健男 理 事 谷川 健 理 事 富田 和重 理 事 倉知 明弘 理 事 福田 稔 理 事 境 幸一 監 事 丸田 竹治 監 事 白井 亜弥
2. 研修機関情報	
名 称	名古屋福祉専門学校
住 所	〒460-0002 名古屋市中区丸の内1丁目3番25号
理 念	知識や技術だけの教育ではなく、人間教育、社会で求められる人間の育成を大切に、自分を磨きたいそしてその力を社会に役立てたいと考えることのできる人材の育成。
学 則	[別添] 学則
会 場	名古屋市中区丸の内1丁目3番25号

B. 研修事業情報

1. 研修の概要	
対 象	本校高等課程 福祉科 第3学年に在籍の生徒
研 修 期 間	平成30年5月17日 から 平成31年2月8日 まで
定 員	80名
募 集 期 間	学則に準拠
申 込 方 法	学則に準拠
費 用	学則に準拠
留 意 事 項	全研修を通して出席を旨とし、遅刻・欠席は認めない。
2. 課程責任者	
課程編成責任者	蟹江
3. 研修カリキュラム	
カリキュラム	[別添] カリキュラム
科目別シラバス	[別添] 研修日程表
科目別担当講師	[別添] 講師一覧

C. 実績情報

回数	年度	参加人数	回数	年度	参加人数
第1回	平成25年度	56人	第4回	平成28年度	73人
第2回	平成26年度	53人	第5回	平成29年度	55人
第3回	平成27年度	50人			

D. 連絡先

名 称	学校法人 丸の内学園 名古屋福祉専門学校
住 所	〒460-0002 名古屋市中区丸の内1丁目3番25号
電 話 番 号	052(211)2231 <代表>
F A X 番 号	052(204)8455
担 当 者	蟹江

2018/06/07

介護職員初任者研修課程養成講座

< 高等課程 >

学	則
---	---

学校法人 丸の内学園

名古屋福祉専門学校

向陽台高等学校 名古屋キャンパス

介護職員初任者研修課程養成講座

高等課程

学 則

1、講座の概要

この講座は、厚生労働省及び県が定める介護員養成研修の介護職員初任者研修課程として愛知県知事から指定を受けて実施するものである。本校の決められた講義（授業）を受講し、該当授業の単位取得、筆記試験による修了評価することにより介護職員初任者研修課程の認証（修了証明書）及び携帯用の修了証明書を授与する。

なお、研修修了者について、その名簿は愛知県知事に提出され、管理される。

2、開講の目的

2000年からの公的介護保険制度の発足に従い、介護員（ホームヘルパー）は高齢者や障害者に対して重要な役割を持ち、社会のニーズは一段と強く、関係機関で広く取り組むことが望まれている。このような社会的要請に対し、本校の高等課程福祉科において、介護に携わる者が、業務を遂行する上で最低限の知識・技術とそれを実践する際の考え方のプロセスを身に付け、基本的な介護業務を行うことができるようにすることを目的として行う。

3、研修の名称及び課程

名称：高等課程 福祉科 介護職員初任者研修

課程：介護職員初任者研修課程

4、実施場所

名古屋市中区丸の内1-3-25

名古屋福祉専門学校

TEL 052-211-2231（代表）

5、研修期間

高校の授業に基づいて行う。第3学年において履修する。

6、カリキュラム及び使用する教材

カリキュラム：別添

使用教材：介護職員初任者研修テキスト 第1～4分冊

編 集：介護職員初任者研修テキスト編集委員会

発 行：介護労働安定センター

7、講師氏名及び職名

- | | | | |
|----|-------|------------|----------------|
| 1、 | 蟹江 匡玄 | ：名古屋福祉専門学校 | 高等課程・福祉科 専任教員 |
| 2、 | 前川 好夫 | ： | 介護福祉学科 専任教員 |
| 3、 | 小中 隆司 | ： | 介護福祉学科 専任教員 |
| 4、 | 隈部 理絵 | ： | 高等課程・福祉科 専任教員 |
| 5、 | 増井 健太 | ： | 高等課程・福祉科 専任教員 |
| 6、 | 松井 則恵 | ： | 高等課程・福祉科 非常勤講師 |
| 7、 | 児玉 由美 | ： | 高等課程・福祉科 非常勤講師 |

8、研修修了の認定方法及び免除科目について

【研修修了の認定方法】

研修修了には、介護職員初任者研修に関連する授業の単位を習得し、筆記試験による修了評価を受けなければならない。

【保有する資格等により免除できる科目について】

1. 特別養護老人ホーム等の介護職員等としての実務経験を有する者

(1) 対象者

「指定施設における業務の範囲等及び介護福祉士試験の受験資格に係る介護等の業務の範囲等について」(昭和63年2月12日社庶第29号)別添2業務従事期間が365日以上であり、かつ180日以上介護等の業務に従事した者

(2) 免除できる科目

①職務の理解

2. 平成25年4月1日以降に「指定居宅介護等の提供に当たる者として厚生労働大臣が定めるもの」(平成18年9月29日厚生労働省告知第538号)第2号に掲げる研修(以下「居宅介護従業者養成研修」という。)の2級課程を修了した旨の証明書の交付を受けた者

(1) 免除できる科目

②認知症の理解(6時間)を除く全科目

【評価について】

3. 評価基準は、次のとおり、理解度の高い順にA・B・C・Dの4区分とし、C以上で評価基準を満たしたものと認定する。

「9.こころとからだのしくみと生活支援技術」は単体で、A・B・C・Dの4区分とし、C以上で評価基準を満たしたものと認定する。

9、募集時期

募集時期 4月16日から5月16日

10、受講資格

本校高等課程 福祉科 第3学年に在籍の生徒

11、受講定員

80名

12、受講手続き

3年次授業開始日において第3学年に在籍していることで、手続きをとることとする。

13、研修費用

学費にて一括徴収とする。

14、研修欠席者に対する補講の方法、上限時間及び補講に係る費用等の取扱

遅刻、欠席をした場合はレポートの提出により補講を行う。

上限時間として、各科目の研修時間の1割を上限とする。

補講に係る費用は別途徴収しない。

15、研修の延期・中止等の不慮の事故の事態における養成研修の継続及び苦情等に対する対応等

1) 災害について「名古屋市（愛知県西部・尾張東部）」が対象となる地域に「特別警報」「暴風警報」「暴風雪警報」が発令された場合、次のように対応する。

- ① 午前6時30分までに名古屋市が対象となっている「特別警報」「暴風警報」「暴風雪警報」が解除された場合は、当日の講義は通常通り行う。
- ② 午前6時30分までに名古屋市が対象となっている「特別警報」「暴風警報」「暴風雪警報」が解除されない場合は、当日は休講とする。
- ③ 講義開始後、「特別警報」「暴風警報」「暴風雪警報」が名古屋市を対象とする地域に発令された場合、講座を打ち切り下校する。
- ④ 登下校中の警報発令は原則として、はやく帰宅する。

2) 「名古屋市」が対象となる地域に「特別警報」「暴風警報」「暴風雪警報」が発令されていない場合、講座は通常通り行うが、居住地域に上記の警報が発令されていたり、交通機関へ影響が出ている場合は身の安全を第一に考えて行動する。
その際の出席の取扱については後日協議し決定する。

3) 「大雨警報」「洪水警報」「大雪警報」が発令時は、原則として講座は通常通り行う。

電車・バス等の交通スト時は午前11時までに解除されない時は休講です。ただし土曜日は午前8時までです。交通ストが一部交通ストが一部で小規模の場合はその都度協議して決めます。

上記いずれの場合でも、自宅待機中は自宅学習をします。また基準時間内に解除されたら速やかに登校して講義を受けます。

16、個人情報の取扱いについて

本校が知り得た個人情報についての保護に務めると共に法令に基づく場合を除いて、個人情報を当該本人の同意を得ず第三者に提供することはありません。但し、研修修了者については愛知県知事に報告いたします。

17、研修修了者名簿が知事に提出され、管理される旨の記載

本校においてすべての講義、実技演習に出席した研修修了者については、その名簿は愛知県知事に提出され、管理される。

18、本人確認について

受講申込時に次に掲げる方法で本人確認を行うこととする。

- ① 健康保険証
- ② 住民基本台帳カード
- ③ パスポート
- ④ 戸籍謄本、戸籍抄本もしくは住民票

19、その他研修受講に係る重要事項

- ①健康診断 検便等を含め年度初めに学校にて行う。
- ②学校の規則については、向陽台高等学校学則及び名古屋福祉専門学校学則に準拠する。

名古屋福祉専門学校

カリキュラム

科目番号・科目名	項目番号・項目名	
1 職務の理解(6時間)	1(1)	多様なサービスの理解
	1(2)	介護職の仕事内容や働く現場の理解
2 介護における尊厳の保持・自立支援(9時間)	2(1)	人権と尊厳を支える介護
	2(2)	自立に向けた介護
3 介護の基本(6時間)	3(1)	介護職の役割、専門性と他職種との連携
	3(2)	介護職の職業倫理
	3(3)	介護における安全の確保とリスクマネジメント
	3(4)	介護職の安全
4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携(9時間)	4(1)	介護保険制度
	4(2)	医療との連携とリハビリテーション
	4(3)	障害者自立支援制度およびその他制度
5 介護におけるコミュニケーション技術(6時間)	5(1)	介護におけるコミュニケーション
	5(2)	介護におけるチームのコミュニケーション
6 老化の理解(6時間)	6(1)	老化に伴うこころとからだの変化と日常
	6(2)	高齢者と健康
7 認知症の理解(6時間)	7(1)	認知症を取り巻く状況
	7(2)	医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理
	7(3)	認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活
	7(4)	家族への支援
8 障害の理解(3時間)	8(1)	障害の基礎的理解
	8(2)	障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識
	8(3)	家族の心理、かかわり支援の理解
9 こころとからだのしくみと生活支援技術(75時間)	I	基礎知識の学習
	9(1)	介護の基本的な考え方
	9(2)	介護に関するこころのしくみの基礎的理解
	9(3)	介護に関するからだのしくみの基礎的理解
	II	生活支援技術の講義・演習
	9(4)	生活と家事
	9(5)	快適な居住環境整備と介護
	9(6)	整容に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護
	9(7)	移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護
	9(8)	食事に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護
	9(9)	入浴、清潔保持に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護
	9(10)	排泄に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護
	9(11)	睡眠に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護
	9(12)	死にゆく人に関連したこころとからだのしくみと終末期介護
III	生活支援技術演習	
9(13)	介護過程の基礎的理解	
9(14)	総合生活支援技術演習	
10 振り返り(4時間)	10(1)	振り返り
	10(2)	就業への備えと研修終了後における継続的な研修
合計(130時間)		
修了評価(1時間程度)	※全科目修了後に1時間程度の筆記試験により実施	

研修日程表

項目番号	日付	
	3A	3B
1 (1)	5月17日 ~ 5月19日	5月17日 ~ 5月19日
1 (2)	5月19日	5月19日
2 (1)	5月23日 ~ 6月20日	5月25日 ~ 6月19日
2 (2)	6月21日 ~ 9月12日	6月22日 ~ 9月11日
3 (1)	5月23日	5月22日
3 (2)	5月23日 ~ 5月24日	5月22日
3 (3)	5月24日 ~ 5月25日	5月22日
3 (4)	5月25日 ~ 5月28日	5月24日 ~ 5月28日
4 (1)	9月13日 ~ 9月26日	9月14日 ~ 9月28日
4 (2)	9月27日 ~ 10月10日	10月2日 ~ 10月12日
4 (3)	10月11日 ~ 10月25日	10月23日 ~ 11月2日
5 (1)	5月23日 ~ 6月27日	5月1日 ~ 6月21日
5 (2)	9月5日 ~ 9月26日	7月5日 ~ 9月20日
6 (1)	5月25日 ~ 6月4日	5月25日 ~ 6月4日
6 (2)	6月11日 ~ 6月22日	6月11日 ~ 6月22日
7 (1)	6月25日 ~ 7月6日	6月25日 ~ 7月6日
7 (2)	7月9日 ~ 9月7日	7月9日 ~ 9月7日
7 (3)	9月10日 ~ 9月14日	9月10日 ~ 9月14日
7 (4)	9月21日 ~ 9月28日	9月21日 ~ 9月28日
8 (1)	10月1日 ~ 10月5日	10月1日 ~ 10月5日
8 (2)	10月12日	10月12日
8 (3)	10月22日	10月22日
9 (1)	5月28日 ~ 5月29日	5月31日 ~ 6月11日
9 (2)	6月4日 ~ 6月18日	6月12日 ~ 6月13日
9 (3)	6月19日 ~ 6月26日	6月14日 ~ 6月15日
9 (4)	6月27日 ~ 9月11日	6月18日 ~ 7月5日
9 (5)	7月14日 ~ 9月12日	7月9日 ~ 7月14日
9 (6)	7月10日	6月19日 ~ 9月4日
9 (7)	9月18日 ~ 10月3日	9月5日 ~ 9月20日
9 (8)	10月9日 ~ 10月23日	9月26日 ~ 10月11日
9 (9)	9月4日 ~ 9月18日	9月11日 ~ 9月25日
9 (10)	8月17日 ~ 10月9日	10月2日 ~ 10月16日
9 (11)	8月17日 ~ 11月6日	10月17日 ~ 11月5日
9 (12)	10月29日 ~ 11月7日	10月23日 ~ 11月6日
9 (13)	11月20日 ~ 12月11日	11月20日 ~ 12月11日
9 (14)	1月15日 ~ 2月5日	1月15日 ~ 2月5日
10 (1)	2月8日	2月8日
10 (2)	2月8日	2月8日

講師一覧

講師氏名	現職、保有資格、実務経験		担当科目
蟹江 匡玄 専任	現職 資格 経験	名古屋福祉専門学校 教員 13年	職務の理解 介護における尊厳の保持・自立支援 介護・福祉サービスの理解と医療との連携
増井 健太 専任	現職 資格 経験	名古屋福祉専門学校 教員 3年	介護の基本 こころとからだのしくみと生活支援技術 I.基本知識の学習 こころとからだのしくみと生活支援技術 II.生活支援技術の講義・演習
隈部 理絵 専任	現職 資格 経験	名古屋福祉専門学校 教員 8年	介護におけるコミュニケーション技術 職務の理解 振り返り
松井 則恵 兼任	現職 資格 経験	名古屋福祉専門学校 教員 14年	こころとからだのしくみと生活支援技術 II.生活支援技術の講義・演習 こころとからだのしくみと生活支援技術 III.生活支援技術演習
小中 隆司 専任	現職 資格 経験	名古屋福祉専門学校 教員 3年	介護の基本 こころとからだのしくみと生活支援技術 I.基本知識の学習 こころとからだのしくみと生活支援技術 II.生活支援技術の講義・演習
前川 好夫 専任	現職 資格 経験	名古屋福祉専門学校 教員 11年	老化の理解 認知症の理解 障害の理解
児玉 由美 兼任	現職 資格 経験	名古屋福祉専門学校 看護師 7年	こころとからだのしくみと生活支援技術 II.生活支援技術の講義・演習 こころとからだのしくみと生活支援技術 III.生活支援技術演習